

押小だより

てんしんらんまん

# 天真爛漫



令和6年12月5日  
さくら市立押上小学校  
令和6年度 臨時号  
文責：仁平 博幸

さくら市小学校駅伝競走大会 (12/4)

**祝** 5年チーム優勝 **感動** 大きく順位を上げた6年生  
あきらめない心と全力、そして努力の姿がそこに



12月4日(水)、令和6年度さくら市小学校駅伝競走大会が、さくらスタジアムで行われ、本校からは、5、6年生各1チームがエントリーし、学校の代表として走りました。

そして、初出場の5年生が見事優勝。全員が力を出し、3名の区間賞を含めたすばらしい優勝でした。本当におめでとう。

また、6年生も仲間を信じてたすきをつなぎ、最後まで走り抜きました。昨年に比べ大きく順位を上げ、本当にがんばった、成長したなど目頭が熱くなりました。その「あきらめない心」と「全力の姿」に心が動きました。

これまで、子どもたちを支え、励ましてくださったご家族や地域の皆様など多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



子どもたちは、校内持久走記録会(11月21日)を終え、この大会まで約2週間、練習を重ねてきました。

5・6年生による全体練習は、業間休みに行いましたが、昼休みも自主的に走る子どもたちがいました。これは、先月の持久走記録会からで、特に、持久走も駅伝も小学校最後となる6年生は、互いに声をかけ合い、ペアで走ったり、リレー形式で走ったりと意欲的に練習していました。5年生も負けじと、体育の後の休み時間にグラウンドを走るなど練習に熱が入っていました。そこには、努力を重ねる姿があったのです。



さて、当日朝、集合場所の玄関前に並んでいた子どもたちが、バスに乗り込む間に集まり出しました。なんと、大会に向けて「円陣」を組んだのです。そして、「絶対勝つぞ!」「おー!」と、かけ声が響き渡りました。子どもたちの、この大会に向ける気持ちが伝わってきました。「もしかすると…」と、私も期待をもつほどでした。

そして、大会スタート。子どもたちは、自分たちのもっている力を出し切り、全力でたすきをつなぎました。チームが・自分が、どのような位置(順番)にいても決して気を緩めず、あきらめず、とにかく次の人にたすきを渡す姿に私は感動しました。

また、応援の声も走者を後押ししました。苦しいときほど応援の力がになります。人数は他校に負けますが、声の大きさ、盛り上がりは、一番と言ってもよい全力の応援でした。

出場した2チーム、駅伝の部で出場の機会がなかった児童によるエンジョイランニングで、仲間のために・自分のために、最後まで走りきったこと、全力で応援していたこと、また、補助児童として役員の先生方の手伝いに一生懸命に取り組んだこと、開会式で立派な選手宣誓を行った代表児童、そのような本校の子どもたちを、私は誇りに思い、幸せを感じています。感動をありがとう。(仁平博幸)

